

福知山市の脱炭素・エネルギー政策について



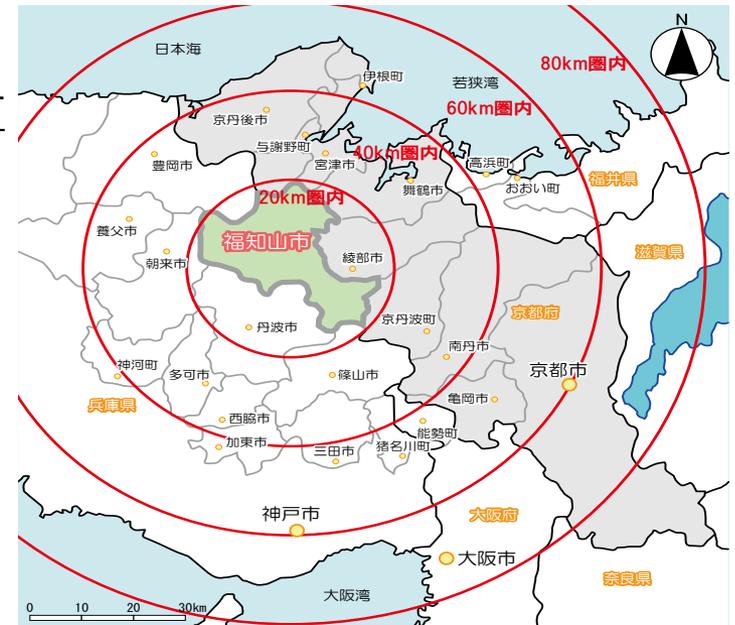
福知山市産業政策部エネルギー・環境戦略課

福知山市について

- 人口 75,343人(2023.12月末)
- 面積 552.54km²
- 市制 1937年(昭和12年)～ 2006年(平成18年)～1市3町合併
- 立地 京都府の北西部に位置し、兵庫県と接する。北近畿地方の中央部に位置
- アクセス 京都市・大阪市・神戸から車・鉄道で約1時間30分
- NHK大河ドラマ『麒麟がくる』の主人公 明智光秀ゆかりのまちとして、今も光秀が築いた福知山城やまちなみが残る。
- 主な観光資源
福知山城、明智光秀、大江山の鬼伝説、スイーツのまち、肉のまち、農泊、丹後和紙、丹波の漆掻き など
- ブランドメッセージ『いがいと！ 福知山』
- 2021年2月議会で「ゼロカーボンシティ」宣言



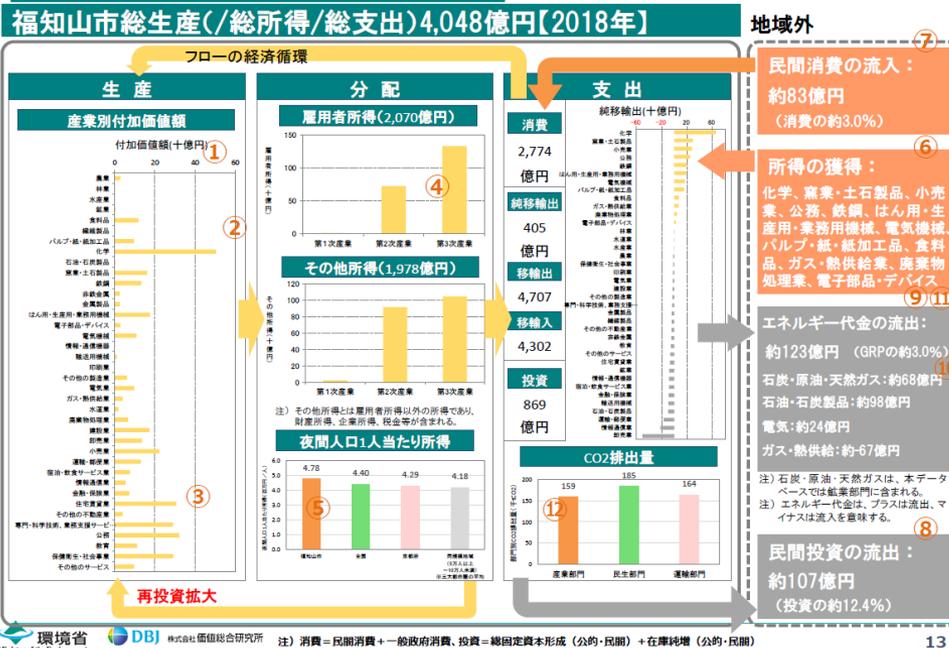
いがいと!
福知山



地域経済循環とエネルギー

エネルギー施策は環境だけでなく地域経済、地域社会に密接に繋がっている。

地域の所得循環構造①



- 123億円が市域外へ流出

エネルギー代金として123億円、うち電気代金として24億円が市外に流出。

- 地産電力の使用

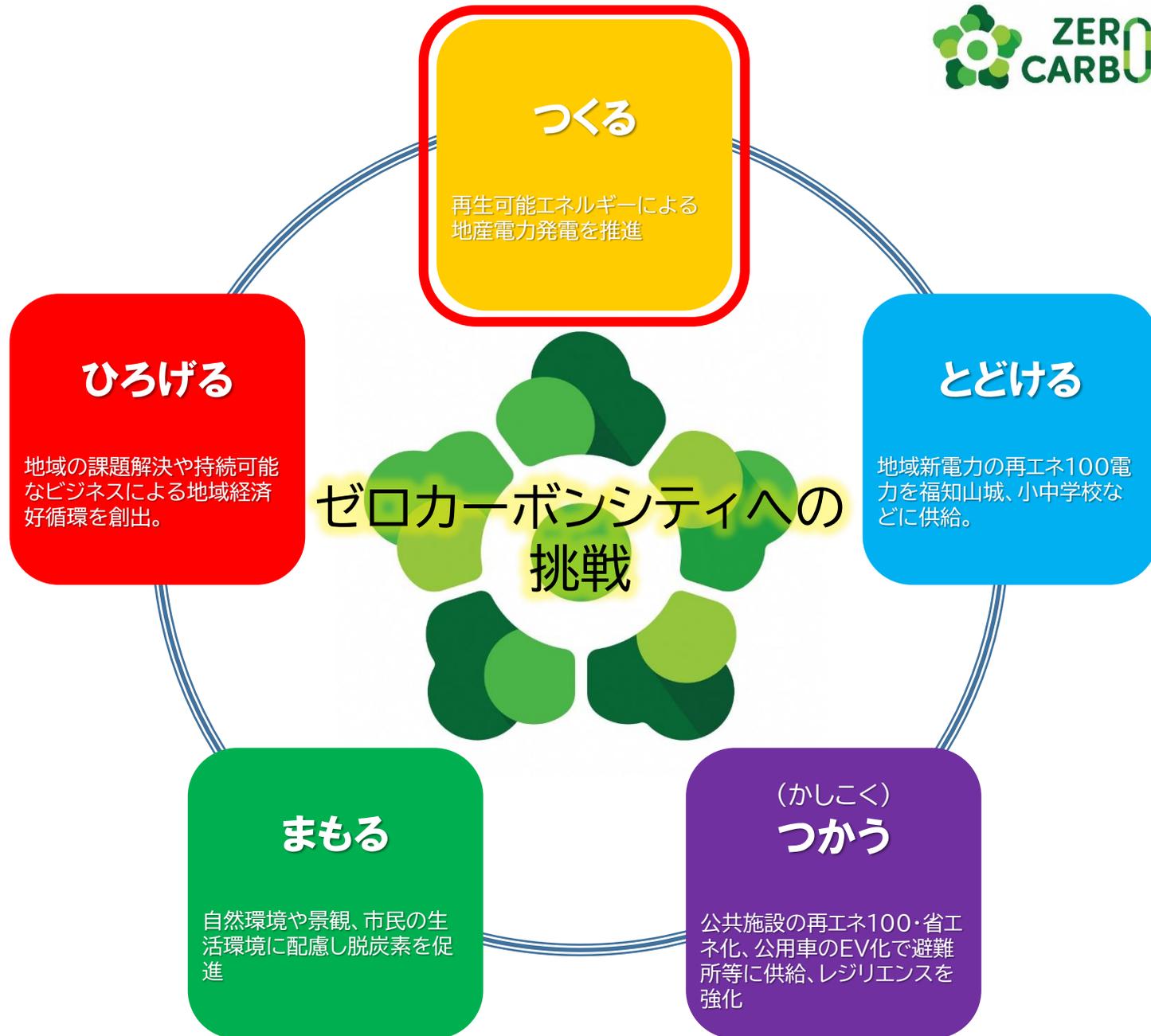
関西電力から地域の電力会社「たんたんエナジー株式会社」に調達先を切り替えるだけで流出を抑制。市内に資金を留めることが可能。

- エネルギー消費量の抑制

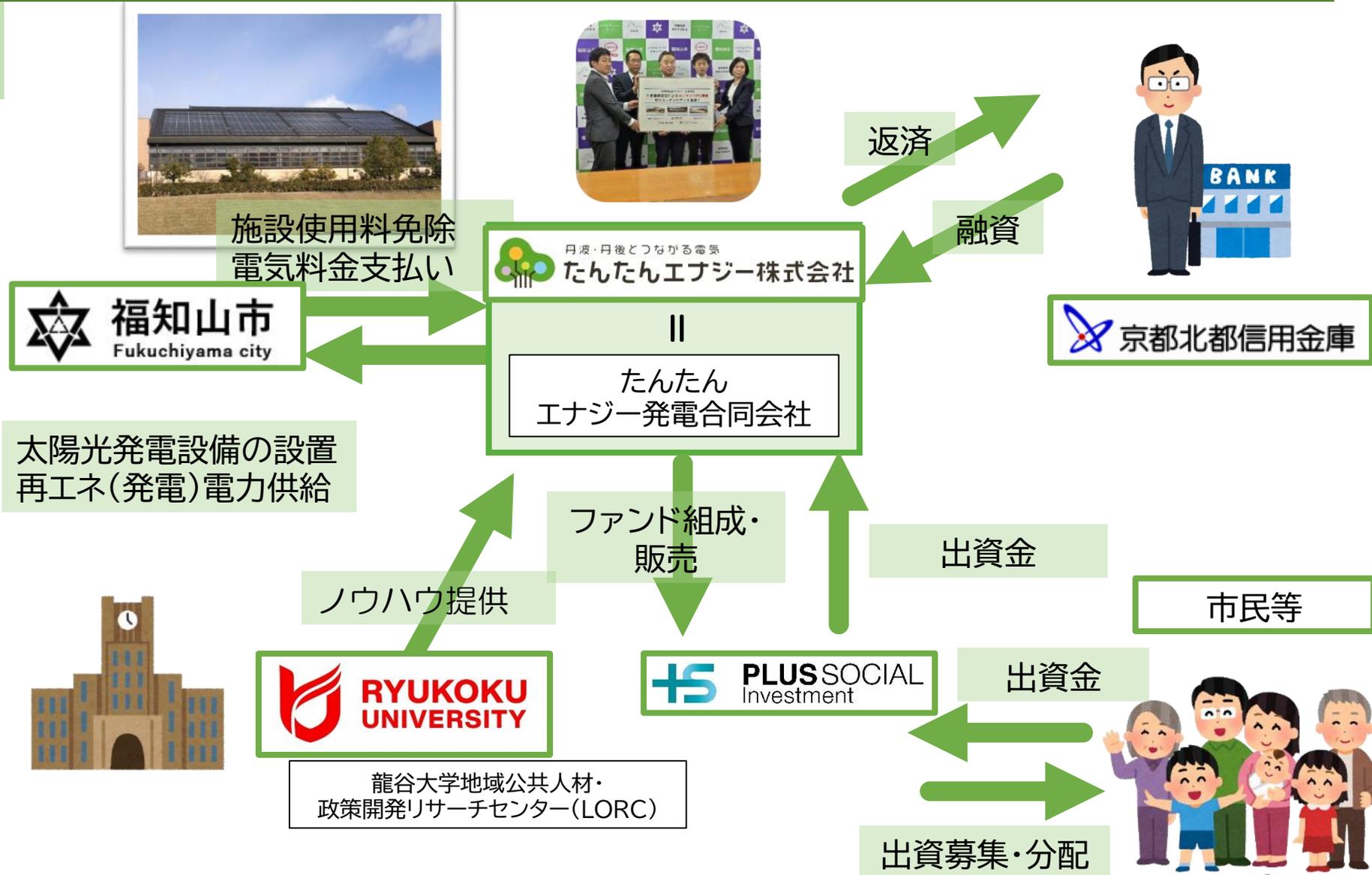
エネルギーにかかる費用を抑えることで、流出する規模を縮小できる。(ex) 省エネルギー住宅の普及など

エネルギー代金として流出しているお金の流出をとめ、地域に残すことで地域の産業振興につながると同時にエネルギー分野に新たな産業創造が期待できる。

地域裨益型事業に繋げることがポイント



事業スキーム



取組のステップ



導入における課題

I. 庁内関係課との調整

- ❖ 旗振り役担当課と事業実施担当課の役割分担
- ❖ 施設担当課の理解
- ❖ 上手な巻き込み方

II. 事務手続き

- ❖ 行政財産の使用許可 or 行政財産の貸付
- ❖ 有償 or 無償
- ❖ 財務規則の改正、要綱の新設
- ❖ 耐荷重計算

III. 市の「独りよがり事業」にしないこと

- ❖ どれだけ市民を巻き込めるか(機運醸成)
→ 市民出資



導入における課題 庁内関係課との調整

I. 庁内関係課との調整

❖ 旗振り役担当課と事業実施担当課の役割分担

- 市としての政策意図、方針、共通ルールはエネルギー・環境戦略課で整備し、施設ごとの契約行為等は所管課が対応。
- 庁内横断組織「エネルギー・環境戦略推進本部」の設立
- 温暖化対策実行計画(事務事業編)の改訂

❖ 施設担当課の理解

- 施設ごとに説明会を実施
- 電力単価だけを論点にしない・・・付加価値(蓄電池やV2Bの設置)の部分

❖ 上手な巻き込み方

- 大規模改修や建て直しのタイミングでの検討が重要

導入における課題

II. 事務手続き

- ❖ 行政財産の使用許可 or 行政財産の貸付
 - 議決を必要としない「使用許可」で

- ❖ 有償 or 無償
 - 「屋根」という特性を踏まえて無償に
 - PPAの場合、使用料もPPA単価に加わることに

- ❖ 財務規則の改正、要綱の新設
 - 使用期間のルールでは、いままでは最長で12年。これを17年に。
 - 使用料を無償とする要綱の新設(参考:次頁)

- ❖ 耐荷重計算
 - PPA事業者による耐荷重計算(第三者による安全性確認)

導入における課題

❖ 規則の改正、要綱の新設

□ PPAを目的として使用する場合は要綱の新設

令和3年11月15日

福知山市長 大橋 一夫

福知山市公共施設の屋根等を使用した太陽光発電事業実施要綱

(定義)

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 太陽光発電事業者 屋根等に太陽光発電設備を設置し、当該設備により発電した電気を市の公共施設に専ら供給する者をいう。
- (2) 太陽光発電設備 電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法(平成23年法律第108号。以下「再生可能エネルギー法」という。)第2条第3項に規定する再生可能エネルギー発電設備で、太陽光をその再生可能エネルギー源として電気に変換するものをいう。

(使用料の額)

第4条 太陽光発電設備の設置に係る屋根等の使用料は、福知山市行政財産使用料条例(平成17年福知山市条例第24号)第3条第3号又は福知山市都市公園条例(昭和41年福知山市条例第2号)第11条第2号に基づき、免除する。

(提出書類)

第5条使用者は、次の書類を市長に提出した上で、太陽光発電事業に係る契約を締結しなければならない。

- (1) 太陽光発電事業に関する計画書
- (2) 太陽光発電事業に関する業務の収支計算書
- (3) 使用者の法人概要が分かる資料(役員名簿、事業実績等)
- (4) 登記事項証明書(発行後3か月以内のもの)及び定款
- (5) 最新決算年度の財務諸表(貸借対照表、損益計算書等)
- (6) 納税証明書(国税及び地方税に関する滞納がないことが分かる、発行後3か月以内のもの)
- (7) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要とする書類

導入における課題

Ⅲ.市の「独りよがり事業」にしないこと

❖ どれだけ市民を巻き込めるか(機運醸成)

- 市民出資を通して市民一体となって進める。

- 地域外からの応援(出資)も

- 返礼品として地域の施設利用券や体験コンテンツの割引券、新たに生み出された特産品(P19参照)などを提供
→交流人口の増加につなげる

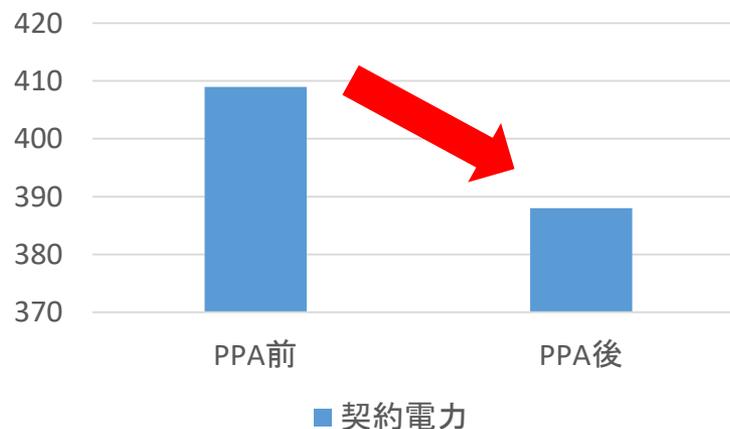
導入におけるメリット・効果

❖ 旧一般電気事業者の公示価格と同等の金額以下で再エネ100の達成

- 国の補助金が後押しをしてくれる
 - ・PPA単価と通常の調達単価の単純な比較はナンセンス
 - ・ただし、単純に単価比較の話になる
- PPAを実施する施設ごとで単価はマチマチ
 - ・設置面積、施設の電力使用量、その他設備をどれだけつけるか

【効果】

・発電開始後の電力比較(例:学校給食センター)



契約電力が
409kW→388kWへ低減

PPA実施前と比べ
一か月約6万円の
電気代削減に！

導入におけるメリット・効果

❖ レジリエンスの向上

□ 蓄電池の同時導入で災害対策に

□ V2Bの設置により外部(EV)からの電力供給を可能に
→2040年までにすべての公用車(特殊車両除く)をEVに更新予定



導入におけるメリット・効果

❖ 脱炭素に関する機運醸成

- 市民参加型で機運醸成に

❖ その他

- 公民連携で実施することによるメリット
 - ・スピード◎
 - ・コストの圧縮◎
 - ・民間ノウハウの活用◎

<令和4年度> オンサイトPPA事業に係る市民出資募集チラシについて

PROJECT
社会的投資ファンド

たんたんエナジー 自然の恵みの電気で 子どもを育むファンド^②

【プロジェクト概要】

京都府の北部に位置する福知山市は、2050年までにCO₂排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を表明し、市内の公共施設において2020年4月から順次再生可能エネルギー由来の電気への切り替えを実施するなど、街全体で環境に配慮した取組が活発化しています。

様々な環境に配慮した取組を行う福知山市にて、たんたんエナジー発電合同会社は福知山市にある福知山市立南陵中学校、福知山市役所夜久野支所の屋根に合計約167kWの太陽光発電設備を設置し、発電した電気を設置した施設に供給するオンサイトPPA事業を開始します。また昨年度に実施した事業では、三段池公園総合体育館、福知山市武道館、福知山市学校給食センターの3地点の公共施設に合計約350kWの太陽光発電設備を設置し、稼働後は順調に電気を供給しています。

今回の事業は福知山市との官民連携で行われ、エネルギーの地産地消や市内の再生可能エネルギーの普及拡大を行い、豊かで自立した持続可能な地域社会の実現を福知山市とともにめざします。

本プロジェクトは太陽光発電設備の設置費用の一部を募集します。



太陽光発電設備設置予定地：福知山市立南陵中学校



太陽光発電設備設置予定地：福知山市役所夜久野支所

【出資募集情報】

- 本匿名合資契約名称 たんたんエナジー 自然の恵みの電気で子どもを育むファンド 2号@福知山
- 営 業 者 たんたんエナジー発電合同会社
- 出資募集最大総額 2,000,000円(200口) 申込上限口数 10口
1口金額 10,000円/口 (出資金：10,000円 取扱手数料：0円)
※オンラインへの会員登録及び申込の代行入力をご希望の方は、10口出資される場合に
対応しております。その場合は、1件あたり別途 3,000円の事務手数料をいただきます。
- 貴 金 使 途 太陽光発電設備設置工事の一部
- 募集受付期間 2023年2月10日～2023年3月31日
※この期間内であっても、出資金額が出資募集最大総額に達した場合は、
そのときをもちまして出資の募集を終了します。
- 会 計 期 間 本匿名組合事業の2地点の発電事業が開始した日の翌月1日から5年間
- 目 録 費 率 率 106.04%
- 事業計画売上金額 5年間で15,563,000円の累計売上金額を目標とし、達成時には償還率106.04% (源泉徴収後償還率104.81%)になります。出資金額に対する損益分岐となる累計売上金額は10,810,811円です。本事業計画は売上金額及び分配金額を保証するものではなく、元本が毀損するリスクがあります。
- 投 資 家 特 典 出資者の方、ご希望のあった方については、ウェブサイトまたは展示パネルにお名前を掲載させていただく予定です。
3口以上出資いただいた方は、約3,000円相当の投資家特典として以下のいずれかをお選びいただけます。

【投資家特典】



- ① 福知山・福知山市児童科学館(プラネタリウムを含む)と動物園の入場券セット(大人2人子ども2人分)
- ② 福知山産キキョウを活用した餃子+ハンドソープ1セット
- ③ 樹上完熟三和ぶどうジュース～農家が取り組むSDGs～1本
- ④ 常温で1時間楽しめる、ZuT(ずっと)溶けにくいアイス

※②～④の特典は福知山市の産業創成プログラム「NEXT産業創成プログラム」によって生み出された新たな商品で、地域の産物や産物であるものを使用しています。
※生産数に上限があり、ご希望の日の特典をお届けできない可能性のあることをご了承ください。その場合は事前にご希望の上、他の商品をお届けいたします。

SOCIAL IMPACT
本プロジェクトのことが社会貢献につながる

自然の恵みの電気で子どもを育むファンドにおけるソーシャルインパクト



再生可能エネルギーの活用で環境に配慮した電気を供給

CO₂の排出が少ない、環境に優しい取組です。発電した電気は設置施設で使用され、電気の地産地消が図られます。



停電など有事の際に非常電源として防災拠点を支える

災害発生時、災害対応にあたる運営拠点に電気を供給することで避難所機能の維持に貢献します。



環境問題に取り組む地域事業を次世代へ

設置施設での啓発展示などにより、発電設備設置の意義を伝え、福知山市が掲げる環境への取組を次世代につなぎます。



昨年度設置施設の実績

・非常用電源設備の設置
発電設備や蓄電池を設置した施設では、停電時でも照明が点灯・コンセントから電気が供給されるなど非常用電源により、防災力がアップしました。
・E-Weekcut[®]に貢献
設置した3地点において発電した電気の使用でE-Weekcut[®]につながり、日本全体の電力不足解消に貢献しています。

※電気の使用量が最も多い時期等に電気使用量を削減すること。



「地域貢献型再生可能エネルギー事業の推進に関する協定」の連携

今回のオンサイトPPA事業は、2019年1月23日に福知山市、京都北部信用金庫、たんたんエナジー株式会社、陽谷大学地域公共人材・政策開発リサーチセンター(LORC)、プラスソーシャルインベストメント株式会社の5者間で締結した「地域貢献型再生可能エネルギー事業の推進に関する協定」の連携を元々実施されます。

オンサイトPPAとは、発電事業者が需要家の敷地内に太陽光発電設備を発電事業者の費用により設置し、所有・維持管理をした上で、発電施設から発電された電気を需要家に供給する仕組みです。

応援メッセージ



福知山市では、世界的な問題となっている地球温暖化を防止するため、SDGsや世界的な気候変動対策、脱炭素社会の動きに呼応し、令和3年2月に「ゼロカーボンシティ」を宣言するとともに、6月には「再エネ100宣言 RE Action」に参加するなど、省エネや再生可能エネルギーの普及拡大に向けた取組を積極的に実施してきました。

今回の「市民出資による公共施設でのオンサイトPPA事業」は、本市の再生可能エネルギー導入のマスタープラン「福知山市再生可能エネルギー活用プラン」に掲げる再生エネ導入推進プロジェクトの一つであり、昨年度に引き続き第2弾として実施するものです。

本市としては、このプロジェクトを通して市内外の皆様と協働し、再生可能エネルギーの普及拡大、地産地消による脱炭素化をさらに加速して進めることで、経済の域内循環や防災力の向上などの地域課題解決に寄与したいと考えております。特に今回は教育施設での事業実施となりますので、未来を担う子どもたちの環境教育等につなげていきたいと考えています。

このプロジェクトが市民の皆様にとって積極的なまちづくりへの参加機会となることを期待しています。

福知山市 大橋 一夫 市長



福知山環境会議は、福知山環境基本計画の内容を実現するため、行政・市民・事業者が力を出し合って持続可能な地域づくりのためのプロジェクトに取り組みパートナーシップ組織です。これまで、ご当地キャラクター「ゴウ先生」を中心とする「みどりのカーテン日本プロジェクト」など、多くの方々の参加によるプロジェクトを進めてきました。

福知山環境会議が取り組むプロジェクトの一つが「再生可能エネルギー推進運動」です。今回、同プロジェクト参加メンバーらと福知山市が連携してこの事業が実施されることを喜び、多くの方の「思い」が集まって気候変動対策と防災力強化が前に進み、「気候変動対策のまち福知山」が日本のモデルになっていくことを願っています。



たんたんエナジー株式会社は、「丹波・丹後につながる電気」をキャッチフレーズに、エネルギーの地産地消に取り組む会社です。福知山市の小中学校や福知山城、本庁舎等への「実質再エネ100%・CO₂排出ゼロ」の電力をお届けするとともに、戸建住宅の「卒FIT太陽光発電」の電力を学校等にお届けする取組も進めています。

たんたんエナジー発電合同会社は、「丹波・丹後につながる電気」をキャッチフレーズに、エネルギーの地産地消に取り組む会社です。昨年度の第1期事業では、おかげさまで、わずか3週間で募集枠一杯の出資申し込みいただき、事業を実施することができました。

再生エネは、地域固有の資源です。だからこそ、地域の役に立つ形で導入したいというのが私たちの思いです。皆様からの思いの込められた出資をお預かりしてプロジェクトを行い、気候変動防止や地域防災力の向上に貢献して、地域の子どもたちにより良い未来を届けたいと考えています。

たんたんエナジー発電合同会社 代表社員
たんたんエナジー株式会社 取締役執行 木原 浩貴

投資家特典として、

- (1) 令和3年度同様の福知山城等の入場券セット(大人2人分、子ども2人分)
- (2) 福知山産キキョウを活用石鮫+ハンドソープ、(3) 樹上完熟三和ぶどうジュース～農家が取り組むSDGs～
- (4) 常温で1時間楽しめる、ZuT(ずっと)溶けにくいアイス

→(2)～(4)は福知山市の起業創造プログラム「NEXT産業創造プログラム」によって生み出された新たな商品で、地域の素材や捨てるはずのものを活用して生み出された新たな特産品

→エネルギー事業を通じて、地域の産業振興を図り、新たな魅力を発信!

参考資料



<R3年度> 市民出資型オンサイトPPA事業の概要

施設	三段池総合体育館	武道館	学校給食センター	合計
太陽光発電パネル	368枚	62枚	344枚	774枚
主な設備	パワーコンディショナ、蓄電池(9.8kWh)、集電盤	パワーコンディショナ、蓄電池(4.0kWh)、集電盤、充放電設備	パワーコンディショナ、集電盤	
発電能力	167.44kW	28.21kW	156.52kW	352.17kW
年間発電量	約16万kWh/年の発電が可能。 (三段池公園総合体育館等三段池公園施設の年間消費電力量の約34%に相当。)		約15万kWhの発電が可能。 (学校給食センターの年間消費電力量の約25%に相当)	約31万kWh
備考	<p>○総年間発電量31万kWhは、一般家庭の年間電気使用量(4,258kWh)の72軒分に相当。(環境省「家庭部門のCO2排出実態統計理調査」による。)</p> <p>○発電で賄えない電力についてはたんたんエナジーが再エネ100%の電力を供給。</p> <p>○事業費の一部(300万円)を募ったところ、3週間で満額に。市民等52者から応募があった。</p>			



<R4年度> 市民出資型オンサイトPPA事業の概要

施設	福知山市立南陵中学校	福知山市役所夜久野支所 (夜久野町生涯学習センター)	合計
所在地	字天田(南岡町)190	夜久野町額田19-2	2か所
太陽光発電パネル	太陽光パネル 226枚	太陽光パネル 140枚	太陽光パネル 366枚
主な設備	パワーコンディショナ、蓄電池(14.9kWh)、V2Bシステム	パワーコンディショナ、蓄電池(14.9kWh)、V2Bシステム	
発電能力	455W×226枚=102.83kW	455W×140枚=63.7kW	166.53kW
年間発電量	約7万kWh/年 (本施設の年間消費電力量の約50%に相当)	約6万kWh/年 (本施設の年間消費電力量の約20%に相当)	約13万kWh
備考	<p>○総年間供給電力量13万kWhは、一般家庭の年間電気使用量(4,258kWh)の30軒分に相当(環境省「家庭部門のCO2排出実態統計調査」による。)</p> <p>○発電で賄えない電力についてはたんたんエナジーが再エネ100%の電力を供給。</p> <p>○事業費の一部(200万円)を募ったところ、10日間で満額に。市民等34者から応募があった。</p>		



<環境省パンフレットでの事例紹介>



カーボンニュートラル社会への挑戦！
～近畿地方自治体の太陽光発電導入事例等～

京都府福知山市

カーボンニュートラル社会への挑戦！
～近畿地方自治体の太陽光発電導入事例等～

2

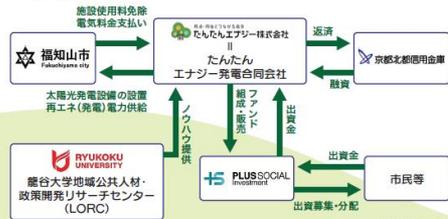
地域貢献型再生可能エネルギー事業

取組の内容

- 福知山市では、2019年1月に、市や地域新電力会社等5者で「地域貢献型再生可能エネルギー事業の推進に関する協定」(5者連携協定)を締結し、市内の地域資源を最大限活用して生まれた事業利益を、地域の活性化や課題解決に関する取組に活用。
- 本協定の枠組みにより、市内公共施設の3か所で市民出資型オンサイトPPAによる太陽光発電設備を導入(学校給食センター(156.5kW)、三段池公園総合体育館(167.4kW)、武道館(28.2kW))。
- 発電で賄えない電力は、地域新電力会社から再生エネルギー100%電力の供給を受け、旧一般電気事業者と同等の金額以下でRE100を達成。

事業スキーム

- 公共施設のPPA事業は、5者連携のほか、市民からの出資を募集し、事業費の一部へ充当。



事業費

- 学校給食センターでは、環境省「ストレージバリエティ」の達成に向けた太陽光発電設備等の価格低減促進事業(太陽光発電設備:5万円/AW、蓄電池:6万円/AWh)、三段池公園総合体育館及び武道館では、環境省「地域レジリエンス」脱炭素化を同時実現する避難施設等への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業(補助率1/2)を活用して事業を実施。

写真



写真: 福知山市(三段池公園総合体育館)

ポイント

- 2011年の東日本大震災により、福知山市において気候変動対策及びエネルギーの安定化等を図るため、2013年に「福知山市再生可能エネルギー活用調査会」を設立し、「福知山市再生可能エネルギー活用プラン」の策定とその推進に向けて、産官学と地域住民が参画し必要な調査・検討を開始。
- 「福知山市再生可能エネルギー活用プラン」やその後の「再生エネルギー活用推進本部会議」を通じて、地域新電力会社、金融機関及び金融商品取引事業者等も含めた連携体制を構築。
- 副市長をトップとする庁内横断的な「エネルギー・環境戦略推進本部会議」を設立し、庁内の役割分担や庁内関係の理解醸成と調整を実施。
- 本事業の実施に当たっては、「福知山市財務規則」の改正により行政財産の長期間使用を可能とし、新設した「福知山市公共施設の屋根等を使用した太陽光発電事業実施要綱」に基づき使用料を免除。
- 市の「独りよがり事業」にせず、市民との連携が図られるようPPA事業への市民出資を募り、ゼロ・カーボンシティに対する機運を醸成。
- 公共施設への再生エネルギーの積極導入、市の取組による地域の企業や市民の意識改革、レジリエンスの向上等への波及を推進。

問い合わせ先

福知山市 産業政策部 エネルギー・環境戦略課
電話：0773-48-9554
e-mail：enekan@city.fukuchiyama.lg.jp

<ソーラーウィーク大賞「優秀賞」を受賞> R5.11.7 東京国際フォーラムにて



京都府福知山市における 市民参加型の太陽光発電所・防災拠点づくり

応募内容説明資料



設置時期	設置場所	PV総量	防災設備
第1期 (2021 年度)	学校給食センター	156kW	
	三鈴池公園 体育館	167kW	蓄電池 (10kWh)
	武漢館	28kW	蓄電池 (4kWh) V2Bシステム
第2期 (2022 年度)	南陵中学校	103kW	蓄電池 (14kWh) V2Bシステム
	夜久野支所	64kW	蓄電池 (14kWh) V2Bシステム
合計		518kW	

福知山市、京都北都信用金庫、プラスソーシャルインベストメント株式会社、龍谷大学地域公共人材・政策開発リサーチセンターとの5者連携協定を締結し、市民出資により公共施設に太陽光発電を設置する取組を実施。

蓄電池やV2Bシステムも導入して防災力強化に貢献。第2期からは市内事業者に工事を依頼。

2023年度「ソーラーウィーク大賞」<審査結果発表>

「ソーラーウィーク大賞」は、地域に貢献し、地域から望まれ、他の模範ともなる太陽光発電の普及拡大に資する取組・事業とそれを支えている方々を表彰するものです。地域との共生・共創に基づく太陽光発電が全国に広がるように、太陽光発電の地域貢献の可能性について、多くの方に認知して頂くことを目的としています。

受賞者の選考は、学識経験者による「審査委員会」にて、応募要領記載の5つの評価項目に基づいて実施され、以下の3つの賞を決定致しました。

- ・大賞：各評価項目を総合的に評価して最も優れている事業・取組
- ・優秀賞：各評価項目を総合的に評価して優れている事業・取組（3事業者）
- ・特別賞：各評価項目の一つでも他にない特筆すべき事項がある事業・取組（5事業者）

ソーラーウィーク2023 優秀賞

事業名	京都府福知山市 京都府福知山市における市民参加型の太陽光発電所・防災拠点づくり
代表事業者	たんたんエナジー株式会社
共同事業者	たんたんエナジー発電合同会社 福知山市
事業内容	こちらの資料をご覧ください

※一般社団法人太陽光発電協会様ホームページ抜粋



とどける
 地域新電力の再エネ100電力を福知山城、小中学校などに供給。



電力の地産地消・経済の域内循環を目的に、公共施設の電力を地域新電力「たんたんエナジー(株)」の再生可能エネルギー由来の電力100%電力に切替えています。

2023(令和5)年12月末時点で、**50**か所の高圧電力施設で切替が完了しています。低圧電力についても随時切替を行う予定で、2030年度にはすべての公共施設でRE100の達成をめざしています。

いよいよ！ 福知山 卒FIT電気を発電している **福知山市 地域貢献型再生可能エネルギー事業**
 市民のみなさんへ エネルギー地産地消プロジェクト

みんなで支えよう！ 福知山城・小中学校の電気！

あなたがつくった卒FITの再生可能エネルギー電気が
 まちのシンボル福知山城や子どもたちが通う小中学校などを
 あたたかく照らします！

福知山城の電気は
**CO2排出、
 実質ゼロ！**

お城で全国初！
**再生可能エネルギー
 100% 城**

COOL CHOICE

学校で使う電気も
**CO2排出
 実質ゼロ！**

※再生可能エネルギーとは、太陽光や太陽熱、風力、水力、地熱といった自然現象から取り出すことができ、一度利用しても再生可能な 枯渇しないエネルギー源のことです。

※卒FIT電気とは、FIT(固定価格買取制度)のことで再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定価格で一定期間(10kW未満の住宅用太陽光なら10年間)買い取ることを国が約束した制度)を卒業した電気のことです。

福知山市の公共施設は、順次、CO2排出実質ゼロ「再生可能エネルギー100%電気」へ
 福知山市では、世界的な気候変動対策や脱炭素社会、SDGsの動きに呼应し、令和2年4月から子どもたちが通う市内の小中学校(低圧電力除く)をはじめ、市庁舎、市民交流プラザぶくちやま、各地域公民館等をCO2排出量実質ゼロの再生可能エネルギー由来の電気へ切り替えました。

また、令和2年10月からは福知山城も再生可能エネルギー由来の電気になり、天守閣のなかの電力はもちろんのこと、每晚福知山城を照らすライトアップも、再エネ由来のCO2フリー電気になりました。

ライトアップを含めて、再エネ100%電気を常時使用している天守閣のある城は、福知山城が全国初です。このほか、各支所、厚生会館、総合福祉会館、斎場、佐藤太清記念美術館、日本の鬼の交流博物館なども順次、切り替えを進めています。

さらに、「福知山城」「小中学校」等の電気を、地域で生まれた再エネ電気へ
 再エネ電気へ切替えた市公共施設は、現在、全国の再生可能エネルギーを集めて使用していますが、これらの電気を今度は地域で生まれた再生可能エネルギーでまかないます。達成には、官民一体で取り組む必要があり、地域新電力と市民のみなさんの卒FIT・再生可能エネルギーが必要不可欠です。

ぜひご賛同いただき、市民が力をあわせて再建した「福知山城」を、そして、地域の未来を担う子どもたちを、地域でつくったクリーンな電気であたたくて支えていきましょう。

**みんながつくったクリーンな電気を
 まちのシンボル福知山城へ
 未来を担う子どもたちへ**

(かしこく)つかう

公共施設の再エネ100・省エネ化、公用車のEV化、避難所等にEVからの電力を供給、レジリエンスを強化



市が率先して公共施設等で脱炭素を進めることで、市民など多様な主体が脱炭素に取り組む機運の醸成やレジリエンスの強化に取り組みます。

公共施設のLED化やZEB化・創エネ、公用車のEV化等に取り組むとともに、EV等を「動く蓄電池」として災害時やイベント等に活用します。

また、EV等急速充電設備の整備により、EV普及を啓発するとともに、施設の利便性向上や新たな人の流れを創造します。

まもる

自然環境や景観、市民の生活環境に配慮し脱炭素を促進

みどりのカーテン日本一プロジェクト

市民とともに取り組む脱炭素としてみどりのカーテン普及促進



生き物調査プロジェクト



由良川・里山プロジェクト

自然に親しみながら由良川竹林間伐、里山遊歩道を整備



バイオプラスチックごみ袋



窓口のボールペンを環境配慮型に



市民一人ひとりが環境について学び、環境問題や自然との共生を自分事として捉える機運の醸成を図るとともに、将来を担う人材の育成や啓発に取り組めます。

同時に、自然環境や景観、市民の生活環境に配慮しながら脱炭素を進め、かけがえのない福知山市の自然や風景を次世代につないでいきます。

連続環境講座の開催



ひろげる

地域の課題解決や持続可能なビジネスによる地域経済好循環を創出。

SDGsパートナー制度



利益の一部を地域活性化や課題解決などの活動支援で還元

再エネで経済・社会・環境の好循環



ZEHセミナーにより市内工務店等の環境ビジネスへの参入促進、地域経済の好循環を創出

クールチョイス 未来への挑戦



児童向け教材、市民向け冊子による脱炭素の啓発

SDGsに呼応し、地域課題解決に取り組む団体を「SDGsパートナー」として登録し団体同士の情報共有や交流の機会を創出するとともに、団体に対し地域新電力の利益の一部により支援します。

また、ZEHセミナー等により、市内中小工務店の環境ビジネスへの参入を促し、地域経済好循環を創出します。

いよいよ！ 市内のNPO・団体・教育機関・研究機関のみなさんへ
福知山市 地域貢献型再生可能エネルギー事業 地域を支える再エネプロジェクト

SDGs・地域課題解決に取り組む団体と応援したい市民をつなぐしくみを提供します



協働で地域課題解決を図るSDGsパートナー団体募集！



福知山市では、「誰ひとり取り残さない、持続可能な社会の実現」を理念とするSDGsに呼応し、地域課題解決のため、地域を支える市内のNPO組織・団体等からパートナーを募集します。

- 応募要件
- ① 市内に事業所等を置くNPO法人・団体・教育機関・研究機関等であること
 - ② SDGsの達成に向けた方針について、代表者が考えを宣言していること
 - ③ すでに取り組んでいる活動内容が、SDGsの理念と合致しており、SDGsの17のゴールとの関係が明確であること
 - ④ 法令を遵守しており、過去に重大な法令違反がないこと
 - ⑤ 景力団または景力団員と密接な関係を有していないこと
- 応募方法
登録期間
- 登録申請書に必要事項を記入の上、福知山市産業観光課まで提出してください。
市の審査後、登録決定した日から2年経過後の日が属する事業年度の末日まで。更新可。

SDGsパートナー登録のメリット

- 1 イメージアップ
SDGs達成に向けて積極的に取り組む団体として、福知山市ホームページや広報誌への掲載等の対外的なPRで、広報面でのバックアップが受けられます。
- 2 市民からの応援が受けられます
SDGs達成に向けた課題解決活動に対し、地域新電力を通じて市民などから応援金が受けられるしくみをつくります。

地域課題解決の取り組み

